

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年11月11日

上場会社名 株式会社 スーパー大栄
 コード番号 9819 URL <http://www.superdaiei.com/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 勝彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 阪本 博美
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

上場取引所 福
 TEL 093-602-2770

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	14,664	—	100	—	76	—	47	—
20年3月期第2四半期	14,202	△2.9	40	—	10	—	50	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第2四半期	6.85	—	—	—
20年3月期第2四半期	7.28	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第2四半期	11,669	—	3,709	—	31.8	531.59	—	
20年3月期	11,622	—	3,675	—	31.6	526.50	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 3,709百万円 20年3月期 3,675百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	—	5.00	5.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	5.00	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	0.9	250	5.9	200	11.2	150	△29.0	21.48

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第2四半期	7,200,000株	20年3月期	7,200,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第2四半期	221,917株	20年3月期	218,417株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第2四半期	6,980,454株	20年3月期第2四半期	6,984,928株

*業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。なお、平成20年3月期第1四半期より四半期財務・業績の概況を開示しておりますので、平成20年3月期第2四半期については、売上高を除いて前年同四半期との比較数値は記載していません。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間のわが国経済は、原油及び原材料の高騰や、米国「サブプライムローン」問題に端を発した金融不安などにより、景気は後退懸念が高まる展開となりました。

小売業界におきましても、食品の相次ぐ値上げによる消費者物価の上昇など、業界を取り巻く環境は、依然厳しい状況が続いております。

こうした中、当社は消費者へ「安全」、「安心」な食品の提供を心がけるとともに、生鮮食料品の品揃えや価格面でのサービス強化を図ってまいりました。また、平成20年8月には既存SMを業態変更し、「鮮ど市場上津店」として改装オープンいたしました。その結果、生鮮ディスカウント店の「鮮ど市場」は、予想以上の売上高を確保することが出来ました。さらに、SM及びD&Dの各店舗に対しては、地元農家の皆様が栽培した新鮮な野菜や果物を直接売り場にご提供していただく「地産地消」コーナーを拡張してまいりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は14,664百万円、営業利益は100百万円、経常利益は76百万円、四半期純利益は47百万円となりました。

また、事業別の業績については、小売業の売上高は14,484百万円、営業利益は469百万円、その他の事業の売上高は179百万円、営業利益は15百万円、全社負担の営業費用384百万円を控除した営業損益は、100百万円の営業利益となりました。

さらに、当第2四半期累計期間の事業部門別売上高は次のとおりであります。なお、前中間会計期間の売上高及び前年同四半期増減率は、参考として記載しております。

事業部門	(参考) 前中間会計期間		当第2四半期累計期間		(参考) 前年同四半期 増減率(%)
	(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		
	売上高(百万円)	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)	
小売業					
生鮮食品 ※1	7,224	50.9	7,847	53.5	8.6
一般食品	5,457	38.4	5,417	37.0	△0.7
日用雑貨 ※2	523	3.7	468	3.2	△10.6
その他 ※2	809	5.7	751	5.1	△7.2
計	14,015	98.7	14,484	98.8	3.3
その他の事業	186	1.3	179	1.2	△3.9
合計	14,202	100.0	14,664	100.0	3.3

(注) ※1 小売業の生鮮食品部門は、生鮮ディスカウント店の「鮮ど市場」が店舗数も増え、新規店・既存店ともに好調に推移し予想以上の売上高を確保いたしました。

※2 小売業の日用雑貨部門やその他の部門は、同業他社との競争激化により、売上高は減少いたしました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前期末比47百万円増加し、11,669百万円となりました。

流動資産は、主に現金及び預金や商品が減少したことなどにより、前期末比42百万円減少し、2,085百万円となりました。

固定資産は、主に賃借店舗土地建物購入、既存店改装、賃貸店舗新設、駐車場用地購入などの設備投資を行いましたので、前期末比89百万円増加し、9,584百万円となりました。

流動負債は、1年内返済予定の長期借入金や店舗閉鎖損失引当金が減少しましたが、短期借入金や買掛金、その他の流動負債が増加したことなどにより、前期末比120百万円増加し、5,183百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が増加しましたが、長期借入金が減少したことなどにより、前期末比107百万円減少し、2,776百万円となりました。

純資産は、前期決算に係る剰余金処分で配当金を支払いましたが、四半期純利益を計上したことなどにより、前期末比33百万円増加し、3,709百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益40百万円や減価償却費197百万円を計上したことに加え、仕入債務が38百万円増加したことなどにより、293百万円となりました。

また、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得による支出△351百万円に対し、有形固定資産の売却による収入88百万円や建設協力金の回収による収入100百万円などで、△166百万円となりました。

さらに、財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額140百万円や長期借入れによる収入440百万円に対し、長期借入金の返済による支出△713百万円や配当金の支払額△34百万円などで、△168百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末比41百万円減少し、1,172百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績は若干計画を上回っておりますが、今後の状況に不透明感がみられるところから、平成20年5月20日に公表いたしました通期の業績予想を修正しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準については、主として売価還元法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として売価還元法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響額は軽微であります。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,172,640	1,214,524
売掛金	3,503	3,878
商品	742,101	756,046
その他	166,943	152,937
貸倒引当金	△80	△80
流動資産合計	2,085,109	2,127,307
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,709,303	3,695,910
土地	3,568,396	3,444,182
その他(純額)	744,229	721,395
有形固定資産合計	8,021,929	7,861,489
無形固定資産	107,177	112,418
投資その他の資産	1,455,390	1,521,121
固定資産合計	9,584,496	9,495,028
資産合計	11,669,606	11,622,336
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,644,617	1,606,097
短期借入金	1,490,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	1,184,000	1,331,000
未払法人税等	20,859	31,140
賞与引当金	74,000	75,000
ポイント引当金	17,202	18,235
店舗閉鎖損失引当金	—	21,000
その他	752,675	630,119
流動負債合計	5,183,354	5,062,592
固定負債		
長期借入金	1,588,000	1,714,000
退職給付引当金	734,156	723,871
役員退職慰労引当金	131,901	127,494
その他	322,713	318,506
固定負債合計	2,776,771	2,883,872
負債合計	7,960,125	7,946,465

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,667,108	1,667,108
資本剰余金	1,714,551	1,714,551
利益剰余金	394,277	381,359
自己株式	△70,482	△69,543
株主資本合計	3,705,454	3,693,476
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,025	△17,605
評価・換算差額等合計	4,025	△17,605
純資産合計	3,709,480	3,675,870
負債純資産合計	11,669,606	11,622,336

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	14,664,407
売上原価	11,542,247
売上総利益	3,122,159
営業収入	202,589
営業総利益	3,324,748
販売費及び一般管理費	3,224,519
営業利益	100,229
営業外収益	
受取利息	4,465
受取配当金	2,219
受取手数料	6,270
その他	6,944
営業外収益合計	19,899
営業外費用	
支払利息	41,462
その他	2,209
営業外費用合計	43,671
経常利益	76,456
特別利益	
固定資産売却益	39,090
その他	1,893
特別利益合計	40,984
特別損失	
固定資産除却損	44,153
減損損失	3,501
投資有価証券評価損	23,094
その他	6,044
特別損失合計	76,793
税引前四半期純利益	40,648
法人税、住民税及び事業税	11,228
法人税等調整額	△18,405
法人税等合計	△7,177
四半期純利益	47,825

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	40,648
減価償却費	197,930
減損損失	3,501
投資有価証券評価損益(△は益)	23,094
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△21,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,285
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,407
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,000
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,033
受取利息及び受取配当金	△6,685
支払利息	41,462
有形固定資産売却損益(△は益)	△39,090
固定資産除却損	57,170
売上債権の増減額(△は増加)	374
たな卸資産の増減額(△は増加)	14,027
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△15,623
仕入債務の増減額(△は減少)	38,519
その他の流動負債の増減額(△は減少)	9,262
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△8,909
その他	3,334
小計	350,677
利息及び配当金の受取額	2,894
利息の支払額	△38,548
法人税等の支払額	△21,090
営業活動によるキャッシュ・フロー	293,933
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△351,590
有形固定資産の売却による収入	88,620
投資有価証券の取得による支出	△103
貸付金の回収による収入	1,902
建設協力金の支払による支出	△2,766
建設協力金の回収による収入	100,606
敷金及び保証金の差入による支出	△19,808
敷金及び保証金の回収による収入	12,492
その他	3,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△166,970
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	140,000
長期借入れによる収入	440,000
長期借入金の返済による支出	△713,000
自己株式の取得による支出	△939
配当金の支払額	△34,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△168,847
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△41,884
現金及び現金同等物の期首残高	1,214,524
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,172,640

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		百分比 (%)
	金額(千円)		
I 売上高		14,202,237	100.0
II 売上原価		11,212,010	78.9
売上総利益		2,990,227	21.1
III 営業収入			
1 不動産賃貸収入	150,067		
2 その他の営業収入	48,536	198,603	1.4
営業総利益		3,188,830	22.5
IV 販売費及び一般管理費		3,148,296	22.2
営業利益		40,534	0.3
V 営業外収益			
1 受取利息	5,732		
2 その他	16,866	22,598	0.2
VI 営業外費用			
1 支払利息	50,145		
2 その他	2,617	52,763	0.4
経常利益		10,370	0.1
VII 特別利益		92,253	0.6
VIII 特別損失		35,886	0.2
税引前中間純利益		66,736	0.5
法人税、住民税及び事業税	9,741		
法人税等調整額	6,117	15,858	0.1
中間純利益		50,878	0.4